

2020年11月19日

報道関係者各位

東急不動産ホールディングス株式会社
株式会社東急イーライフデザイン

**パラローイング選手 有安諒平、クロスカントリースキー競技を開始
2020年夏季パラリンピック東京大会と2022年冬季パラリンピック北京大会の
夏冬ダブル出場を目指す**

東急不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：西川 弘典）と株式会社東急イーライフデザイン（本社：東京都渋谷区、社長：林 靖人）は、所属しておりますパラローイング選手の有安諒平が、日本障害者スキー連盟より『2020年度日本障害者スキー連盟 強化指定選手（次世代指定）』の認定を受けましたことをご知らせいたします。

■ クロスカントリースキー競技で2022年冬季パラリンピック北京大会出場を目指す

有安は日本ボート協会 パラローイング指定強化選手として多数の国際大会で活躍してまいりましたが、パラローイング競技に加え、今冬よりクロスカントリースキー競技を本格的に開始することといたしました。クロスカントリースキーはパラローイングに必要な下半身の力とバランス力が鍛えられるため、これまでシーズンオフのトレーニングとして取り組んでまいりました。今後は国内外の主要大会で実績を積み、『2022年冬季パラリンピック北京大会』出場を目指してまいります。



■ パラリンピック夏冬ダブル出場を目指す

パラローイング(PR3区分混合舵手付きフォア)においてはこれまでに数々の国際大会で実績を残しており、『2020年夏季パラリンピック東京大会』出場に向け邁進しております。大会の延期はレベルアップの時間が得られたと前向きに捉え、基礎トレーニングに励んでいます。コロナ禍ではリモート・トレーニングによるコミュニケーションの機会が増え、以前にも増してチームの一体感が出てまいりました。2021年は出場枠獲得に向けた最終予選も控えております。パラローイングとクロスカントリースキーで『2020年夏季パラリンピック東京大会』と『2022年冬季パラリンピック北京大会』の夏冬ダブル出場を目指します。



有安諒平 プロフィール

有安 諒平（ありやす りょうへい）、33歳。1987年、米サンフランシスコ生まれ。15歳で視力が低下し、黄斑ジストロフィーの診断を受ける。筑波技術大学を卒業後、医学工学連携の研究機関を経て杏林大学大学院医学研究科博士課程入学。2017年からパラローイング競技を開始し、同年11月に日本ボート協会指定育成選手に認定。2018年4月に東京都アスリート認定制度アスリートに認定。同年11月には日本ボート協会の指定強化選手に認定される。2018年12月に株式会社東急イーライフデザインへ入社し、シニア向け住宅で理学療法士として勤務の傍ら競技活動を行う。

<パラローイング競技 過去の実績>

2018年1月	全国マシローイング大会	滋賀県	区分：PR3男子 第1位
2018年7月	パラローイング国内選考会	相模湖	日本代表に選出
2018年8月	ボート世界選手権	ブルガリア	区分：PR3男子ペア 第4位
2019年4月	神奈川レガッタ	相模湖	区分：PR3男子舵手付フォア 第2位
2019年5月	パラローイング世界大会	イタリア	区分：男子ペア 第11位
2019年6月	世界選手権派遣選考会	相模湖	区分：PR3男子 第1位
2019年8月	世界選手権	オーストリア	区分：PR3舵手付フォア 第14位
2019年9月	アジア選手権派遣選考会 本選	相模湖	区分：PR3本選出場権獲得
2019年10月	アジア選手権大会	韓国	区分：PR3 準優勝

※パラローイングとは、障がい者のボート競技で、PR1~3のクラスに分かれ2,000mのタイムを競います。欧米を中心に世界的に盛んな競技で、パラリンピックを頂点に、世界選手権、ワールドカップ、EU選手権、アジア選手権等多くの国際大会が開催されています。

【本件に関するお問合せ】

株式会社東急イーライフデザイン 業務統括本部総務部（担当：渡辺、増村）TEL：03-6455-1236

